遺老物語

JAP 1218 7

三仍記脫漏 それなくし人をらいのお大久はえならしりおしそい 人かららあたちのけおき人いもれけるるみなる れをから 我すりん今からろして あるとは一朝を 万季代けなられているよは 発すり えゆはないん ないあるとけれる人い中愛けるけるのからうろう 村国内多代西大代西分子多安地发程は了了 そ此為もあるるは、一人与母後はなけた田三大夫 とうとのろうそとはなけるもあされる多代表ってい 大久保意光例門熟於心堅多草

めり

それめの見てはるてとう眼かないゆ後で数ある小

らゆきふくてわらとは会でもせけのたちのない

しきるとりのうかれんとももりてあきいてた

は、まちきろういちはちょううきらうあいるとうない するべといんりしき又名ことしてうれいてれたこ てきてるれいれるとなってかけるける四周をはぬろう あすか日みも見よからしか何からいろうれてれまり あろけゆするかまとあしてして十分とめいても うちゃくはんけようてはりれしいてるとろうえ 透いするかっにあてるかートて一園りはていたってし 事務とら作付しろうなければかあるとことは眠かけ ~~とうする ある相心 あい 国山けるへありく はしてもあった見よるとしてるれるといれてかとり 时時時的人人沒会中女方,中眼中气内之至八 後八申務をは侵害まてとしてり段言之相

会うらいあるうろうくうしき終さいなつきる的山 ろる第四山とたらして神とろろちをといろさりを きる相多といくちむとも時後とある、押之丁 ちろうやすいゆるいをころしきらとけるかでる よせてはちてぬちりさるそうろうはぬくめきるの 了被えるうさというりつからる向山はり数あれいても 白山あらば なるいあしをやとるりまい大人なえから てあきある大はこあ人とけあるて市馬をひとして らくの別をいあく押出多しるもあるるとうして てはととてとうれる 中属るいとつれてらてる さからてきたちらないかりんというないあいあい神上 押出了二中福之声路多了了及大方的

いかまて ゆそくれ かろうりろろろのなのを、ありつ 内をはあるしているでうなものとかしてトナハ るあいのは時後との中くれてるとうちはたと あうらいとなるあして押とろときるかととろう 多るべきはれならるうるられちゃんかりと もちさる。そろうける一年もしてあける一种 はないとうないして 方一神ときとろおという 相当任,是付户的公山一个天主等的名 接地的 うるの人又大人は人からうけなる ゆとて 秋とうしる ちょうろうちゅうかっちゃて なららうとうな (きかとうる病的山であるして神出るとという 一元乃依的方线を押子のでは野子のと大

我かちてるとりけれならいりけれつかるないと、我の古い ろうんか我のころは返ってありなするうせましきとる さとおうしてはたったいちかいのうちくわましてい そうすらからろろれる、押かてっちょうろうとろうか はあるるあろうとうようないちょういろとっちょうろろれたい なってかき合もの。銭されき合うはしていかまめの 多い、物山いるいなりかり れるる きならうるをから めつらりしゆたてゆるしてろふるいろういろういろういき しろうつかし をあるでするとなるろんかどし をうちょうとりるかんちゅうしょうとうちもいる ちろいりすいらればありりつしてりいくろれら うりつやくあですでいるといは眼かられていなけ

らんろうであしゃきれいあるかりいもううるろい あるいからうれらているけばいのなって定べりるいぬろ る中でしてりのいろろうとうりいろののころうし まっろれいを付めるととるるろと人はれずり一人と おかけるうけますすけあるではるあるのきて を紹い内のをするる~~とり人が、独山牧軍を多地 るちはいあるとわかりてきりつるれてったからず かられるかがからかけばるろいるかとうちとうと うけるるかんもくのきつりからあんゆからは 寒たたらうかいし人もうしてありる成る というまとういてはたるいの名とい馬からていい みず相めないたろう 天を寺れるかれる這くろいの馬

-そうとうろのありむてはてしるがあらられるから たろときしてしてとはいのもうとしさくるるる からもいうなであって見くいとがとれていれるある のきつかてもかあいりんも ありとかられて人を放はかけ ろけれいろちらり ろうれはあう えいれる い何とれるなくていまつけらけるようしているや 生のなるとうしくそんとうと対方的するけん あれるけるころであかしてりりれいをあられる ろさったまちっといろの大人は手歩地式をつめると うて 松山なから初山なからとりせたりけるてい はきもちろてもうないねい一人もなりれるけは越ない 内務はあろかって人工 いったしてもらりはむりて

おおときろきしまでいいかれるいないないないな そろうてきておくからもは地とうけてからういいる うるるとありいられなるうなんとれりて果たり きた田とをやいきてかてからりろろれたとろうりろろ そか後となるとといいろからかの移めでいるった やするなるはあろうしくいる代のあるとろいそれで 人ちるいいたらても一あては地でかけてからい るのうするのは、まち二人をそうとうはうはるるると からるでいるもいるものっする神はきてるなる そろれかるいきまかりためるるからろうとう うちゃいられるといろからちのなるとあると はらろれていてあたるもん又もあれるると

えるのなってらいからる むっかっちとよるとのえめいのなる 方のことをとよるけんあるるいなられいはいきりといいも くうしかしてるるれたをうしめのあれたとろくる おおられるなるでれるとうといろうとうき 子をうてつはあるめいしょうというべもありあるい てかいていいてそかのはあまなずれてあるろうく子後 きけるてり中の気まれぬいとうられるいるれる うれけるがいはちたらあいたるときべいろう お心情多好えるななる人的思あいいっとすり うう大な事情いはんとうすしらいまれるのは あるうなられてトサーれるのろれるとかいるの と各的はあれり面又相心核心方面八日的的的多分

相はないえようない合致かあいつけるとれてもれ 党人かきるりなるのかりきあしてりきるかり あるののとひりしの出るないろういきてあるら るはぞくのきならくとは中くななる ちれる かけ おってられるいとしるれてるとろいてあるれて のるいやふ及るするるるのとうにあるなっ 代けのけるけるけるとこともあるとめるの 世子是是 るろうかあと 磐岩し 出多い 那一人又名 你人山色なる人方あり ちしああや色者ありと 武 しろきれ出るるめてろうるうるとはあると け相かれるれいとうしいろろしるかりあるれて 一て在了人多一 まき出るとい同川鼻川多い

それるかれる物にいいるれるなけるはあるのであめ うにはきとは我多のぬくきまれるれるけらいとき うろううな出我ないあるとちいろうとは我ない と押りきもられると、動り又を持ちいるうぬり入と できかからとろうるけるとれているではしろうちい あきとうる人とようけてきるるとをはいむりしつる してからるるかけるかろうあってるるそれはる るうれいらかりる事は底のちちかお中男文九大なが けきりは此ののちい名きりこくうろいろうちあるきと るのろうて飲みにんり付み人十人ことうるものるのろ するうなるのは出かるとはくともしるとてほろたら飲 い此為といろいたしくのきょうきのあるいろって

といういかかときろうなならい大将のるなりともるる 返してきる就るではもぬといはけからからしけら うれるはないかあるるとうとを教いもうつきりみる そないとうあれるあれいなるを迎り そからるるがかりやれる あきらるかかろろん るとうしろがなりるるるとしるるのかち せめえるらいる合致けは、ちょうかいから けるろうはいるいろろろなるてかってるからしてい といけるれるのかりまることとなるはあるろうみきて ちゅうちのをはおうをあるるるとうとうちなる まるとな 相必 ちいろろうけんろうしょうる すしてはないろうのうてけるんとろいはかかさるとれ

とストとうれいきる人はられるとろうしてありらうる 名上り由りとうれいちはあるいろれるいろうちろ あるうろうれて ゆきけるりのなもある たっち すって いいろろうとはきてりしろとえれいゆうるうろ とめいえせられている於らなてすりょうちゅん あったいちを多いけるうれいはろうきはいをはい しいいろうある小男又多いいりとういろのこをもですり よけれいはらめてとをとかえるいることをまてる 声をいけるこうをちらしくちのうはちりてまりくろと きってきちりれるいではとうしる 了一年时四多で方便しるれた西路事的的人也 いとうえるかいわるのたとけなるとアとりれらいる

三りきて小野日向ち内同之山多りてかり小男又多的 うるるるのんというもらくいからかっためまてとは ろれてあるのは、なっときをやるろうとはると やとおかったうろはらしはる、ろうれてるなとあやりほけ ころうてあるのいさんちゃりないきると れる二 すりよう人はかーそりかの改成されると 書うるか ては国ともいっせるいてあられるほろしとなんとうろう それやすっせっとかるるんくそ人もゆするへいてる対 一人はあるとととうれいきるう後の松ろすんべん 人とうしまるなりまいとうなみなるるい人も かっちなろうちといい 後めあるのはないほと いいからそもらくかありるるうろでもなるというな

あきりするとうころかりてもうりょなて勢は かりらんとろきすれいでれい天きすけ 去去けるか きてうしろけると えるれいゆうしん ゆうそとみ あくれい るなすってきりなるうなるとうなるとうならていると 升级客的了一一一一一多多的自己十级纪天至了时去来 むきろかいのあるりとけらいてれいか場けているとうとう 大久保たるらしるはらからけるよう書たいかとう すら国的は多くまろちろのありしてあると も要なけってうつるでありるけかりおうるは山け ゆ後ろけれらうけとりも人よるうれいきなちる ろれいらはゆ後ろめっちとの後ろれしくどうての うるのの向うとは後してもないはとあるとはき

多けとうけいるなとやとろれいろれいあっとゆきの すれいぬけれるときろるとはあるかりれたう えてかわりいていちてるりまてみてたりつさまうえ うけまうりはると、ちかしるへくろうりすうわないる めるうたけらきかけっつうりとはいつこうとうとんかい あきてもあれり後でめてちししてるれとうてかかろう されるともいはろくうけっとであるかろしまうりしまか 切れずしたろととすとととろれいう後くをうためり してる人後いうならし とるはてなるいたいあきるし うる彼かでようまあろいはそのるのはるはでと するがられいたものするいもためんするすりりとける お心格いころありをきとはるりもつをとう

きなるのはそれできてゆうかとりつかもおちないろすと ふもとめてしるらとうしょいいりれいろんいちゃから りのえるちかけあるけるかといろにはくてみれいぬかと うかるかなをついあろうなっつあるろいは終い ふは入いたりとうかっとちのよいとれて かけあれるとうう とろれいれを切りりるるものと腰ぬけとるると みはるそくはとうころいろいなからりかきろうちりの はないたでするをかりうねまたとえれ、ならえのよのうの りつきたろうろうてれてぬいるれずしきっちろれいらかる れいるようののり二多けありまかけ大しなけるると とういろれいろうるれぬれるすりろとるけんとい したねる またやってからうちょりんならんなる

有犯的乃後さよれるち自然を犯る之下十一自己あ あからの後をはあるらるゆのアタナーはでなし 内間してかけの経ては後とすべいあるてあってる あっつうかいりいうれいうるちたろいろしんられる とうないする一のはつての動きといいうろうそ あるらてきやかららきおとう人をおこころとてゆ してえるといいろれるたちらたなるとうできくという トすい 生付成後的一人後男是とぬると具色了 あてありそいろうとうれるなるるとあつてめちめ いっととうまはをらろれてえるるとはあるもろく ひらみってうろうは田とるとこくるてと伝うう馬 けるでえては移けるのとえてゆりゃつうるいのでも

ゆきいあいられられるとのはたそるなからろうと かうろいてきたちらくとはきたるさいるとのませるい をうとう没しなてゆりきゃうかいはすするとう かって 万点子養子をはりししきなるでくれたりて ちさ つっせるいてはるはらてあるいけつさしてとう追い付 ろとは後ろれてあてはすしとりといれいちけしさ おかれるるちんてしきてはまるつっているとそろ うもありはるるみとかけるよの多いとうろいてきないえたちろう ういてるるいるとあるると 万後ののは時後の まっしたするいナから及ちらたららなっちいある。れ、 らとしくめるなりいころであけるかくてりょするであれる かりたるあろうかのあるいろろうちろるるるとと

そけるやはいしきわらてはあれておうまいましき るんいろろうりすいはとは後あれるまちょうとり きりりつりてはなけんちょうりのれるを引きとう後 たろと、方後けけるの日山からり名なるおいあかのうと ぬうくのしてあるみるてるちとり出るれいめいろうと 後よいするるいはとうことの後の时名的山村と 事後ありもあるいきとすというとうない。 て我山といるとにあるとうというとうたろいたいと てかしろいろとうけからとうとはることはるいき りとうかろうかろうきろとう後のけいできな 大利了了时候活的多了多声转电多时不多多多多 了教きて なりとおりるのかは務性又有的地方

えて あるからるめいアナーとりけるけらまいはっかけ 失乃我られかりてるるるたとあれかりるけらいとる とういうなとあってういろのれるろうちらなけ ぬめけらいしるどはあるからうろいろはうちゃととて とすつけるようからときをいかしおろうとりったらり 大久はであるうとやしけるときか大人はいちらうあときか アクシハいろんする の何とのとしまっていいろれいとの まていきりりはとて よるとうけっていると おきらてはきてあるとないの例へあれたとまて 新ていすれるるちとからそろろうからそれて てもうちめれかったかりからとううとうとうとうない ありはってあるるるかけていきまれるうけい

ふろうとろろてゆれいるけらくとうえるいと根は 後つけあめは、又はらなって返しりはいれるよか かるまいはかりつかあまかっくりましていりとなる あるるとなるあるとろうとつろうゆうとはんると 核とろうちょういつめらせてもりはくうな ちゃろはあくまってからいうちゃとトちけれのは いるれずはかけるいろけてしてありんけるころから あるろうてあけるからる人の方人とれきろうと ら はくうりんりろめるとしてからるやるいと となって うれる いれらめけききしいろうのける それでうらりしてとりったいよろしつますからちにっち ろうてとるいろいかりいれるはいなけられること

あきひとうれいろうと付きでしまてら ないけたらし るけずしろうなちまるとろうとりとうとれられてあいけ かりしいたとうけりなられるうともろけるりとりと あちけるらうさんりの多代けるるいは移の陸とい すりはられぬいらやろうからるやまい相心れとられ といろいのをはけかっておうすしてあせれの特に たいあいいろいるのはてきてもしてかっちいるけ めある意からしていていて初めたんしけるとな のゆきるではるりあるもんと言ちもとといる たろとは後からとお唇ししょうちれるかられて なりしていとうやないるかけらをコスマトとて公立 てるれつゆ好るべもいうれりなゆうけるけるい

トするはろうるってしな あないおきりょうか あとこれ でをしゃてからいりくれのめばあかりろうのあれる 軍する方務ないとうあているとやち十あるとせられて ないぬよるらす後とか人之いして まちと よろうりい きさらとりるの後代は者のねてよいるあれるか かしてならってるらいけるあり、たろうなあったろうて やしららと我するだとりる人をとていませゆるけの ふろすいてるうからと ろろうりとくけんこめらい れってるなけられるなりはあしろいていないのる であけれるうとうけられるがあれていいけせるかともし 用るいるとうならっていいとうしとなっせるころいれるほと きるか、すやれるとすべいおおけるりょうしてもあれる

あるようかられ入をき人あられい幸ける、かかのもある ろれてあるとう対数をからかいろかりるはは るからなくことからまて あるっとうとうのちしてうからうき らりゆるへ作うおかんてかってってとうであてある を書きたりとあるりてりて をしてるいはしてゆる ての切してもちかかるままえいしいゆきている うなかりあるとあるいれないかりるちろう るけかろうとに入りなれいしてけるころのあるましてなか ちろいのであて、私まるてはしらいうるろうなるで あるはれらうなっくみあて後でゆるからかせ めあるととてそれらかしまるらあるいそれはあきると おうありるけいはなりってなってもとりときしてある

えれるみあないらの田中へゆかるやろうからからからから とすいしていなるとうとうのうのちはまいの後き ゆりつうせてきていまりょうもりるいてからけるかきち きしとろうえるいといかしてるりてるっちんろ はきるけんらしてるちゃるなれいりもちはなる るようききははほろうろくいあるれもりあべし たい我しるしかぬるい、りからは、大名をと年へも れるからいるようからからのあるかられる からいすしてもと からいましき あてむろしくいりろう 後というかいとやしてれるり目もないのもるいるやあけ せんでこまらははくまろうれいたちこうまろうしてる まかってあってるけるでとは、うかるではとうして

そうりかけたちとはあくしゃて教というとはある れていあからうれていたたれるとあるいとういとりであり トはらあったかいろうずりして及ぶてそれのきり 会とうれる事物ででするられてもぬとけるりなるか かい一軍せてしていゆうりろあてうけってものとると 教でを押しけてい会教してゆるつかしているは天 方ときてそうなりりある相切代うとれのようのを るいっちつりてもありる事をはいろろうる いろうもからいないうちきてもえるはいとうとし てのまかしわらやるたいとろうし出去を見るして 付きしましてはあるとなかる方根けの切けてもさ 仕置きかりなてするとろうるでうらいはいろののう

けのかららろうけおり そそらのかでは年十七八け あるいかりてはちめからうとあしきいいるとして 代で得えせるの得けあ得けいぬでおもないて報きるる ゆれってもうれるのるいうあんとくするとさは大 あれのなる目もあるこうまれ事物けられるるかもに 久信をちょうりょいけるたいかでするけんこれるかどう れしきるれているととかる意味いゆるましても いていかいめてものうとが人からうるかでかりてといきろう 多増けらてゅうもしゅりれるあるというの此あて 親氏春秋ろうちあれ事などは代十二代のゆると 我にゆうふるで同めなのけったりる あくおけけい 以て一つ彼の後代でいてゆるりといて一つとよりろて内代し

あけんううとうきるひてを後級田路られていまってん うんろうすはなけらそうえもするのうちに致をする どてするからしせるひてははよいあ城からるなとして人かろう らり会でる方がも之と得けあるのうなはらはは多い 後の海代かんなすりて養えとかようて好られなと人 ゆるをきつきつれるからいは大の経路なってもれてき 国場でゆる文でもられるいても後ら何るとめてもるいて るかううきととからのまかはなってともからいけるのは 物は下つるかかったってもの、髪もあさの出谷、後して ーすってはるけんけるれてなりようりきもあるゆ すってきるけでしょう数百大名のあれけられてとりは いろうでしばするなりてある。彼因は多、多り

あるなろとして世で見れるのはりなるとなると るう高かしている一回つうを奏りて世と送るのあり る者るといまけるあるといわめてくるとうとうで食 ゆるへつかかかるうれいりはもあさくけいけんとうう 男にかてとこ すれてもてかなろととろんのころにき 忠にるをあるあいのれりからかしめてありてから うる語 中天生とうとんあしていっとはいかからのあるうと てあていすれてして、ちょうりとうときりはるけるらう りずりてしてから合致のかをするすとるとすと仙父 あらうかもれるうめてうけれぬけられるにのもわ いはかりきてきいろうというとさくう天中あてもくと唐 平时写的方面了了一个独我表明经知是好好

又いゆかゆ奉うとりせる百像万五格格二百任三百任 えるはいているけら城ありであるかるととかってい あいいなからからはりありまてらしゃるかりのかか 行的一年中村出口人之人人不是要的被称語 そううしょういかちける人と人はしてもる小の百三百 りついゆあさまるですなはぬくろとはいりるをからんし もなりるといめていちを記をとけずさあいけるとのないえ かられてるりきれんけまりる~~するれの~ るのはとうなんなるしかっろうちのあいか よいありなるのかれてきのすってそのことの何に そううちていせらりまいるなけれいはるとうでもれいか 飲たみるかもあるとあるとなるはいくるとかり

えてららしられてのかあいる方路をあせるとい あるかけるろれんしあとしかかり あると一方とうる いたりんやいとりえるいし、長紀なけらけらいはにもかい 一万年ってまかけずとち起次五るみそかからすること うていないろくありると考えるうれては個けれるでのの のたりをけるるうちと教でみでら無めるとうれ 回あってはるこれるのできていてきているとうというとうない はりく投入るるうでくろうれているとりに大名とる みるちゃあろうるなけらであるましめるでくとさしるた はせりううなけるなるはあいちてるの時代はえ うして又のかけは大名とをは一多めてかりかってい せいちろろけれずのはみてるのりもけはむい思りあるける

るつうこれのからろけ、あるい十年日かなられなること 大衛的十万年了人了多多多日本多多相与我的雜 あっというの、我直でるめとゆしてたたろしての 乌ているいてい牧山ありますいてち降てるともの かだしているいろあるないのる氏直でからると そんはかかろううして りたるしんりしょうといろった せりはうちっあうかがあるでのほれんとはられる るがてもくるありまれるからると 他はれいろう おはてればあるなの人教大人もとらるとそからして 十万金は人敢於かしてくてものでからをありむし であろうれをいるとしてるれるのろけれんとい そのもてとうとうんいの時代あてるるかて置せいきに

ゆろれれいあるわけけけれると山での代であるからさっ るうとして武谷でありてれたととさまれてみん 後地でみっとて武名でかるうなやすしてけたとうせき ちきつうはいいれないおあけるあるさっちにしてい ゆする、彼りてらるなてよきはよろんともうこれるいう感 ないりょう及きしるしょ在ではなかなされまてもも かかって ゆのかるから きゅうんとからんちん うてるはりしてうるいのいそれとも あまるでしたはと あるまして又ゆ後代るけいちまするにとるくく せなっての国かてらる他のけるとるはいりによる ひりつれるゆきのちであるからもありあいると しておうしきるろとすけしるののころいにはないか快

うろうい良ちはつにかきらろうれる良ちのはの苦け 傍代為以中旬とりるるが対文本學中時代中 とうにういろいるかり日からいるましているころいの用 るりありるらしいゆめるとうるからている後代なら うしろろうもあるろとろろう電うを残っていると 中语代多格中降代为的事了でそ一名的国金沉路 きす病がはそううろけいゆうううちもうり なるないろうそろい他又知らめらろうそうくとせんる しているほうあるではあていつかろうろのうしろいろ けろうゆるいはって天下ちではるるからへとろとで うえなて とうとうかけれめついけらしさるうつい おもうつちょううろけんかるまけるいをもしろれる

ろうとうてあたるははしゃろかりかんとうし 像人を欠るりて人とめからしてといきにかる もとうろうろういはいりたかうためりてあるはあける 味方あって内合致の方をすせるひてすてみをいこら 山上の成分な多好川多の山をは込む奉人人後村 内国かりんとかくすめると何とはそろうりちんなっ ちろけるとうといかしていめるいのうけはゆうそい しるでうれいう時代あて一なましてるようしてと うれいとろしてもやりんとろろろう時代ないられ かなっては海代なるりけるなるのからてゆ のゆるちらけるあいとってあいるの時代からるの 方でよいいて りかくてるけきといるかとすく そる

とろうそ後とのなわるかんとうなるとうなるとかいますることの ゆつてあるいきてあるかの時代を代はあまして ちてちゆめるところきいは多代けるそんかい一かいい いの回うにろうゆろけんかと集めてもられるあるかいかか とずーさとゆきなりる国で流してこれもとてな つらいてのなるとなるではなるなるなるといはっきんけ はされかんやあるれるとあるかろう、上夜はある するできぬよろけゆきそとまうてりてらけてからかい ふかするあるするともくともう時代か五十一 さいろうらうううけんけなとけるとうとく何とは りる表意はほかりもといないのきるかかの時代

書にきるになるなるなるないのうけんかねるのる あけん えるうきょうのはこれのるする ろうなけれ書付いる ちばかいてもろてありてもらいりはありてはるかでも ゆろれなしまっとわりいち人は一名はかきょうともで うしみつかのうそでい格如るんをうしょけいからとお 各のをすることとうないあるかいあけるでまり ちいとれあいこれがといる ありとかれるるいろうあれた つきさな かかかりてちり 一ろはをみらとりかなるん ちもことのかりるるとゆるなかゆるとからいりすから しては多次、はあなるの人とろいて三てりかりかよ か世のゆうの多板けの由までもありず大人偏一名的 けるいそうは書置するとうるからけいでもありてちも

えくなり ましるといこのは年であるるいとうと うったまたまですしるあいぶかりとはいろるし るは一後代の名うるかはかつてもいってらている そのゆとけんでおうしいえられらていというはろうかい たりこのるはありしてくるあれたらものっきりてん そけぬめっちりてちとえてう四ついるかかてくして とうろうというはる様でそれであるかけめるとき あるでれる人かかとれてとしてかれるかりとら 代をあるのけるくろかりてれるとなりあっまけら りていたろうのしとうからからかかとろうらいる いえはしたへれりこうよいる後はあるよりはある者いた てきろくなるりとももははる一路などれまりはする

おも、治がとけつかとうときてめるとりるよう 合いるとはなるのからけり料るようて大人は一名け まけるうるちょる れゅけるのは近い一名けたちょう 久一度からからているしるはってつるうまれるたとい きてきとしろりるのよう山かれのあるかで山からきた みおせられるいろう気のああるうを文山中とてうでとる かりきちうりしるいかしてとは属状のの时日女枝 不審了以不了行名院稿了去五十之祖为代表一会 みなとる他で送れるであるのうとろいうとと で格氏しており電色的為多方子と一成多氏世 ありいれるしてかつてためるしめしゅしいんれてら なるのうちりとはいれいのとくなりるのかの時代

多ちなであるっというするるのできれらんろうよ ゆけてしてもある大人は一名のおもゆけてきるから 松子山居及神的一て廣思坊でる時でしてかり りと考えがあかかうったらて眼かの大仙父をあせる 伊多けいちけめるもったるかいこかろういとない あてあれてとしるつてをかしるに一名の国場へなすべる るるろうん者の大人は対からからくるなのもからある 人中多面是記得を書的一个伊发的人物的多多人 そて あけて とにて ろうてあけあるれるもと を行てもせけりきとうていてういかからからるかとて なからてしてきないありいるのはなるはれるとと 一世は多かっていた人であてるろうもろのかと十人みも

えんないるゆけはいるる記けるこうとのまけはないと 又いはるからとうをうかあためをのとり あくして記人ないあけとくうろうてはときしぬけ 入字的多方で国格人子子中的人为人的人工的人 てそいとりましてといてるあまする俗又又あるとりだろ るのては世で、白南男教的名と家里人いせんと なれてった あちをするりてんたろろうと のぬるはる 行とこなどかもりうはからいるつゆってしいとも るていたろけにあるるりなるれるのもったちか かとけろとなっと国道へしろあとて投いてかとう たりよるかいは付てまたりしかれまはいなけいるで 八中了了人人工也如唐七年到到了日中人生人生

者心悉一多海川村中中日我人去的孩子是好人 なとういうですとうとあかいゆ後代えきり一枝ととし 大久はつるいはおけまるとそ人はしまるとれでいり さいまと対かりはいない他又はあるはれるからを て声動を成てきなくろうろうなったてもってたちの おてるのう熱は微してハナナ町中間で日夜酸いり そうなとすめけて大人はちいあうなとよれ田へあからり 一多つちははとしていかのはると年ともうのではらう かっきしあるとしゃはこる一路はあるれる大人名 すけらりするみないろうちらいってするころかして 村られるきのうとるのからかりすけとないますの くりつけませるいて れらとうへんとかるもの大人はな

ぬるするらしは名きみとりしてうちているからきし るきのあるの 若愛とする各国用も以外的人故奉 めのき年みあってあるろり上午後日五日七代之工具足 るにかしいとう おんとしてはちょうえいおめりえい はい大久傷するというはきかわろうとのう倫をするるい ろせず又以はいるりる書きとんろして大風しりのきなる 置てをなめるは山の大一生でもるちなっていてな と人方をしてゆきるてやしとろいあるとまけしょうさい そけからでしぬいよりりりもらんとはたても あるないというるいあっかしいと、おうなほかを ちろうきりなならて あるいなとうりゅうとはらんやくんと 後きるりとてとうちろりいはいまったとは七代のまん

おあったはといのもうへずしきとといてきるしていること 大多一是限以外院之后免的公司之为之也引引的引 なりてるいちとれるしる は考するいろういようても対 は、彼うれ、そはから後をあしまんとゆかてえよ 人一人でいしてぬかいちなろいらきとしまるこまかられる いいちあきるかしてしまりまるといういとてあたって えてすけて人からてもちれてもすかけるはます るいまろういろうても国るっておんゆ国ふとの おれてしてろんようしてもういななるといないなろと 名とりかしてもあとしめるというるとうからいろう 人はあるましていったよかしるちては移ちるす できえるというたいはしまれるから 奉がらいすれ

さんいとけつかるのまりられいるるもろしるれのとあいい あるかもの父でいたもろうなれるしてのありてくれるのう でやうとうとりてあるくけるそ人はないをなけれて ても後あり、かけんこととうあるかろうちのとうあれると ふくちてするではするやとかれるはなるなるとないと ならとついろうあろうならてくてもらめきりとるしいは らありによりないちをられたのはこのとうときまと るてはるなるというはいのするしはるのなるろうと らいいつてまっよかしとしろくろうのれまろうできためる てはほうろうれるとういわれてちょうこうちのはよけるう ~ ろかうでもるえんしんしてようしいとりはいからるるよう あるかれはいるうちかならいのあいろういってそくかが

して出めるの时でいているとくなとつるまちん をろうけるして えをうらずでをいるできるとりまりい 田立里、ろ返すかおきりつりるりょうとて山みるころと なろいるとうではさめものといろしてよけた人一神よる ゆうてはあるとるますれりれいろうあれるあったはそれちけて はとしくみるいとなってかきわしょほれては軍しける くろうからうける軍、動からかれている事して をうないっているいかとおうころをらいよいなんなか みたからいろいよるにちいいないといういととける人 おきてりいてきつちらちつるつりかゆれたるとうと ちめてえてできるでかけるりるの人ろうれるりるた けばけるける一切っててるちかりいてのかれてつずちい

うんろういまからする きるしんかったからり 多りとやてらられてからいてらかとけるないのひけても るとこんとしてりっさるおとのれるかでこいるつか 又各ちつきるろれるとうゆうはりるなくな大ちの いていまれのゆきのはないとりついろれるけんしは なるのでいてるなとアとうれい物更いからろうと とってあるたはろうらんうろくとちくとの後きる 乃るるあるようは人数とたらけてのするとうしてるとも のとりすえざられいいいけばずられるへりそうなと ないのけらとゆきははゆれる入りとて中でゆろい なちとなるでゆきょうしてもあるほとといましは はあまれえよりとととけられるいあきりの経めて少く

るてはるいとうろめていかりまるるもろれるれる うともからとういるではいろけれてあるころである ないなしとうとはきのはのはいきりたりしゃようれいゆ そるででをかられるとは時方方之のとを記るる てとううなるは多めたりろうとりてうけるいち なとゆきあるかろんないとうとはいるとはないいい Pとうれ、人的てきゆーきと大きがあるろうではそ るがためずりをなるのかなるころはけてあるととり ちつきかりの強いあきりの成十れるときえて りつうろうろうないあきさなるなけりもらうが出する て久にけやしにおいてあるようようの病れるトラにちり うれい我也之的的力色の一ではは多なるととと

上てはるなからいてというんやうりきずりのろうちないろ り本かられあるとしたといるきしておよりと そけんけりけ、成でそうくかはおろとろてるなら たるのちちのおとつきちろろれのさつかっといれるけ みためているというころしてなるうなてさんかられ なきてるろういまするりなしたられてといかまろ とあういうをふとうでしてりはなるようてあるけ うぎを我はなるを方を方とうなるいるあろうて えっきて人とはんちゃとくころとの多なかてらそ ると、ちょうるはいけからおもいってるちい ちきれるけのこれしてうかいるまししかるけれないか けるときてるれるのないちょうれい人とかてあるきる

あまろとるなってもく、はまるいろしない、秋日へある るらいしてもすれてくるのけるからおかはは日はち ゆれてらるでは日かてゆまるりちられるない事者も るしてぬりとうちらゆゆるってとからのありている うれいそかけらくけをうしよるいけるをうる かりろんで 一人は称えてきる一をろりとったかはらるとける方ち てきるととうころうてきからいちょうちないから つくのありつしゃうというでもの面白きるならゆ直上 つてはりつかったすろりとって人をふそり四かりろう からそうでありってをちと後日から書いろうろう するのあろいにあるもとするととろいろとといきて とうせともなけれてなけれるかられいいろうとう

よは、からいろいろくあととろうるうれるん そうちへんかけっろんさしてん そくうて 世と かろうなるろうけ てはいるともられ因果うかでろいて人とってれまし うであるというなうとからわられるちてきてくてる ゆうかとかるい人るのず大きれせいなるはかりし 秋五春でもまるる一声を使いる神軍校とあれ あいが人でおぬるきたり又今あるなるとろうしと くるきてからしょめりしれる人山谷をしるろう てしてあるさいてゆしまろいからねられームーする くるるもれいとういうなどもしめはいちろというなとるに けら後代されためたるるとととしいったちれんう人る 打しるけるするかられるけるちゃるるないるしる

きてもうのとやらいからまってもはいかられてもの 修代となるうしをきするたちるんぬっちょうな代 て子次かるな軍校内的常内与起之内見受上方人情的 さっているとはいろうというしてらいたとれるろ るちるとすなり後といけるとととまるしいけんるいま あうきちと東思修死ないととく させられるからきな てされて四二 秋~ねっちりりかないぬいあれずねしのな まてるつうられるあるけていおるめとめてみるけ 近しるつうそうれるよいつける時代ももありるるちゃの とすでははの見るからま今ろんえてからすると なういているとりのは回は人であいるろうろしまか せる成ではましはこのうとろいするこれも」は彼文

午傷がらるにからりれるかてあるいかけるた 三叶五种像的三年居下二多個多名的名である方 あるてり上きれているのうちなれて追続は科 うあっては後代人しくないはままたり回りてい ろをてればるろうとけせてうりはありょう 後世と大 るあとられるけんだとれてもらへ作名はするいあると ちらはなといろとかろうなしきてなめるろうとある ういきからからちろえるりかくうろろとなるのと出る あれての 多月をかけて男子はあるしますとは信息 るとろいてきているいけるけるうちろれかるとうた ねずらゆけてちるねとしけのするとろいもうらと次で かりとあるしいとゆきるか、二多傷のるいなもの二

あするしまれまとう まるとうしいてれるつそ こをあけれるすかこちゆはる~~めかりいあしてるかい う十時十時二時人為成為为了五一日的的好了 ゆるいず大小は中で入ておるしいて中人はは後のよ よそてでている彼へのを切れたちるかありの我 うれい必切にしゃらうしけい ゆれつるなるなり ありたちとちゃていよりは中文と記は中でも捨て も必くくうるしてあるあるべいうるゆるたけのまる 公うういてをテ七年記が科してからうとかして すればいりとてうるからしてあるろりとないあま ううけらんそうてるそろいるはうる後のちらるちる いれれらけるこれるるかるのと思してるつうるれたり

きれれららるのとり 又あるいれるあってりとうとう かりゃせるこうろうないあるかいっとからいろうれも かしろとろうるいたうのそろういけてなっ致すす すっちってんとしありるすりしてしるってとゆるたと まけれるあいるからとろいいるからはあるかっていて はしまっトするのかあるとり当時軍長き 行先根的出方時代的方面校上的中隔下被与战争 かきまうりすからしてるではまる世代人の地 くろれいられられられてきろしろれ、返しゅきれい いろへいを記するにとっましけせいるの面も とくろおからなれ後とというしょうしれなれ飲らど 追心て きのきった七追記は科勢って名多地做る

多くうちいちはあるとしまったりるれている あきるしれはっているころとるかられて追記が料と まりて好的地狱一路をつうしてある あそとはいしか うめてというなとといっちろろうちょう と一人人又知的自己各通家以科と家的で 多地 と地はあるれととういうというしましていると へ落てをなちとうっちゃらしみれるうしきふりる 親かは大きるとかを上間するはると人間、 るのれる国民八名小的人人之一的教育了 とののいりゃしているをこうのでうるすければい 所的社的事也ありくち、多多的智的合为民人的人 极出之多了位必多数了地极的名几个西安的次十岁

らか危一神入無位ではて患了 楼数一多人住後甲 るとうつに思村は数るる甲のるとあるともの 同民之 あく 行きろと 同民力 智報できるかそと 例へれ入路以一时為被寺け知園をそかけらあきて 一多分方方面的国民电场与新一方时周男子的 アキなるすべけおのきくるがとうそらぬるり そでもてようけぬでうつて あれりけるけられ はをるめて とやりっててうからもるしくはけりめとりとすって 知我なっても、多と対しりりるないましいとん あっるときるしろはるくなりるれているとうちゅ らいひしそ思るというとしまるとしてもある 第つてようもはの思しゃうとしておけれる多

移楊堂一世以出了大下生悉城我一路此人 こあるほでできっととうれるかいしてその そのなとかとうでする肉果ろうちいとうとか大思 名けてころうはそけるうのる果又三ちないける と多何ありかしてるとかてしつらくらべて一番をはし ちってあるけんとこナ人中なったりからななっと 金小的守る 城級了るしんかの田男とうなる ときいいてあてのけるりかれた他をひとせょうで けのうといれるいあるはそそそろめてぬまけのは かるなったとくないとうころろものならのちからしてこ たろとろうぬく大陰の家らなのるととろうやして けてれてうちょうかってゆ傷っちあちかろしてすい

うろいろうきとからそれとなけってもいきまでは もないら後とかしとうべとあけれるはしきてからる ちあろはらけらうたきる男ころ後、多かけちなって か そろ高い舎か大れちゆうまりてたるかととりと 又後大名でかるいて快見るありての後といり あるなのきとうとある天意からるとはしるとう こんとやうななであるいまというでいるような はかかられないけるいちのきとありすしてかな からいとくとかして伏見けぬとまてなるしる きっかとめす後今年降 あるらけなるではちを 了打九てきたの実力系一押的一て合致して去をな はあるであるすり置いるいはですいいたろうの大坂は

又は、むけは人でナるか及びて地とうなとあしるかろう神 あると押名でとないからからなけるを軍力する るるとしては場けのでぬているような事をからか てもういてけるからいろうのいかのうではいうような そうせんひてはとるをはくちスかりったとあるいころ 大とうけるいちれいゆねても連まるるいて山里由場 ぬとかも一切も路上的一切的由力城上端ひろろ天守山 さあか次へなくよろうでものの男ことととで りせと うろろれを押してぬてからろとりをは いやしくせて置るしくまや不是内るでにろうで ちはいて又なるというしものきるうろうろうろう 大下行はなるからととする方間は肉果又多時科な

うつらくていってあるですまったとはしるくろうと 致っちはうのあるのあるななかりらくれあるいかは ゆないそうてはりらせるの お食をなてかりしいちゃ からるありではずつでの砂ですってまいまと対域 幸かあるというというかるうな いるしくらんはのあけるなかとめつけられるんとう 因果とうつう方物の知义方面核代的多色之下的及行 あいきぬうりそれするつうくをる回るするようけ 後の為いのあるかりてでしとかて動あけるいろ まてもるでいたけるいはあかられずはさくな 时多人人了到它你了了了的你的小人是不会 了るもいとるなった、そうとりして ちょう、ういんは

そで行きけはなけるとははなるのかとりりかして ものかりしめておきむととみろうなが大板いいるの す成なもちりてをするがでするいゆる地はいあいた るいかりいでもち見ってくすれて又ゆめていてすならん 时多春一声致山东下临郊上一味ありりょう合致山下的之 ま了成敗為了了了以多少人多方方者了は随置的 やきれる 回名とちういかではゆうれるからのき 地でか 「佐好多路沙库西奏的毛到了了多数と中から みをうしつまするるのはいちきは、ころりにそる国は かりゃくとりて各とすかいて腹心を了てくりるころ いか伏えるであれてるくとしろきいようよう合てはと ひて一人であ成なあきそれは多地よいありまでおかる

下司 多时西国为及 でうしく、まよう不多なうらそう らてるとするとうは後かあれるとうちろうと国子文 そうできるとうううちはは後て人気 いる大きくんをきていけるいかるはあり、大人はから 行名けゆるからあい一时家属院伊久的上了之 そがは内科にはしてもそうべんとてもはないろうかる たう送りなってはけりとし日本は多思めてされる するいううれいろしとけるしる快もまそろうなど るうそろなとうからてるいまれず町人るたとい なるものろいきてきれてはそれたけれてるかるれい人 ろいてのっせられりかりまけた園えりしてしてもけは光 はすくちはいるけるるとけるちょうとちに名きる

むしてしてそくやめであるとして、するとしからの 不審かいあるなけるもれるはんないろうけからいしころも るい必住例りして太城のけないとえるけならといちをつる 路しいけるまるとくこくかうと あるいりているて あいいがあるとはいけてもとらみる被ですて他から 子切らよれるとれ入て黒めてもすけてをのからいて いしは彼まというそうりかってきるとろうできるけらけた とのがはいきっれてきずれらうろれいをてきかちあてり ちとちちらまらけたけるうといてきちろもなろうか きからなはまる情をうれいっという西できれんや 「出四十つけらわりと」より一子後してとろかて多れ 佐ないらいから実ましのねりんても そぬかいいかんでん

公うてうらかけんでし、あかんあれてからしてとけるる すゆとりちえてていていあるちるる風暑、ちゃつると 改多るであるかめりか由利、個れて子後秋田へあるれて あきて奥当はとうれいちにたちてをよやかけ ううろうろうとかというるいとろしゃ くかっとしてると 三年もすごうなしてかよううこともしてありる 改多したいうすゆ近治けらは多とあって多ないるはっ り了けるい方便是 教徒相因品心了是是 てとうひとうひゅうかいかうはしるしもくからてるかと はけるいきてできか桐とけるとつって番とける 思数因果はあり~ 数、えつやほしてしめるの情後も てあるうちつりかりないからもそうたろう

よけらは置っかたとをはかくかしにうらうれてはんと そうれすなる 乃政者多人上やかと乃政名的时也完 あたるうぬいいはしましてよりあっていてろつりたらうる果 の動きえせろろやするんべきりちり

めぬてるろないいしからいはるもとうしるようり 少少人的人物であせりいち、見たら大致友程的 人之をろうらず我を与うするるるのからんのう ろいちめとう後代久しきるから後してあるいるみと とろうさんためえもはらううちっとありえるのと思てとい うかいるかとり置きる 後人であたりのきりとれる たいまである事代之時九代はらるゆうて うたってはれる人できるとれるるとうしている 名こかするとそしてるち後かありにける置後い けいけけっない あむとうりってなられあるるとうる ろろうては後しいを名この我あけるみちなると 作るろないちほれなしきないないあありけるとう

於天江大學一年西及京都公文出海少子不然等例的自己

原題を文をできるというというというとうと

かんかいかんかかれているかにしまからる人からいとして

ゆかりうできるあちらけるからかろれるるてよち の知日中後代久しき都国とろは多置てるちま めゆうりありはられなけない書るりいで

AND THE ROLL OF THE COLUMN THE PARTY OF THE

京院下的犯名人一是明子成了中国的大学工作

人もとうとろうりかとうとするかであるがでいるが

不可多的と多得代及了是不知為此一年。 影為に可及

ころをようして一名なる方的といかしい氏文重版

也是一個人民主要一大的工具一个人们也不被自己的人

我一年给今夕首的屋内之场无处约的主教之

的少少在多地中的战火中中人就一的马克里了

人名 少智之

となっとんだべんとお子って



